キャラクター名: 日高 枝縁（ひだか しえん）

プレイヤー名:

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	不良高校生	カヴァー	高校2年生
オプショナル		年齢	17くらい	性別	男
覚醒	無知	衝動	殺戮	初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	記憶喪失	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	2			7
感覚	0	0	1			1
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	36
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：(コネ補正あり)	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
決闘者の剣	白兵	7r+3	3	7 (+4)		A64/経験点15/この武器による白兵攻撃の対象が「対象：単体」の場合、攻撃力+4
		0				
紅炎の煌めき	白兵	9r+3	3	21		侵食8/コンセ+炎の刃+結合粉砕/攻撃力21/装甲無視
@100-	白兵	13r+3	3	23		攻撃力23/装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：情報屋	
ウェポンケース：決闘者の剣	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
永遠の炎	P	N		
孤児院の先生	P 尊敬	N 罪悪感		
シナリオ：円藤銃丸（えんどう・ぜにまる）	P 執着	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値-Lv（下限7）							
エターナルブレイズ	5	4	セットアップ	至近	自身	-	Dロイス	
効果：	ラウンド中、サラマンダーのエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力+[Lv*4]/行動値-5							
炎の刃	5	2	メジャー	至近	自身	白兵/射撃	-	
効果：	攻撃力+[Lv*2]							
結合粉砕	2	4	メジャー	至近	自身	シンドローム	ピュア	
効果：	判定ダイス+Lv個/装甲値無視							
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	飛行状態で戦闘移動/移動距離+[Lv*2]m							
プラズマカッター	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果：	超高熱のプラズマを発生させて物質を切断するエフェクト							
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果：熱を視覚として知覚するエフェクト。あなたは暗闇でも熱でものを見ることができ、残熱を追って熱を持つ対象を追いかけることができる/必要に応じて<RC>判定								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

孤児院育ちの少年。
昔の記憶が無く、心に空虚さを抱えているためか、生き方はどこか投げやり。
学校に通わせてもらってはいるが、周りは『満ち足りている』少年少女ばかり。どうにも馴染めていない。
あまり学校に行かず、売られた喧嘩は買い、気晴らしにバイクを走らせていたら、気付けば不良などと呼ばれてしまっていた。

自分の望みのためなら基本的に何でもする。
同じく手段を問わないFHに協力しながら『自分の心を満たしてくれるもの』を探し求めている。
ただ、『心を満たしてくれるもの』とは具体的には何なのか、自分でもよく分かっていない。

孤児院の先生は「心を満たされるのは、『幸せ』ということ」だと言っていた。
しかし『幸せ』とは何かと聞いても、「それは自分で見つけなければいけない」と、教えてくれない。
だから、自分なりの『幸せ』を見つけるまで足掻き続けようと思った。
今のところ、失った記憶が戻れば自分も満たされる…つまり『幸せ』になれるのではないかと考えている。

FHに協力しているので後ろ暗いことも行っているが、今まで殺しの依頼だけはしたことがない。
衝動に負けるのが怖いし、人の死を見るのも怖い。
せめて孤児院に迷惑をかけないよう、任務をこなす時は素性を隠して行動している。

【備考】
過去にオーヴァード関連の事件に巻き込まれ酷い心の傷を負ったため、記憶操作を受けて今に至る。

【最近の事情】